

■通知表の見方について

1 教科（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語）について

（１）観点別学習状況

各教科が観点ごとに評価の規準を設けています。その規準に基づいて、本人の学習状況を評価しています。目標に準拠した評価で、集団の中での位置を表すものではありません。評価の規準に従い以下のように示しています。

「十分満足できる」と判断されるもの	・・・A
「おおむね満足できる」と判断されるもの	・・・B
「努力を要する」と判断されるもの	・・・C

※令和３年度からは新学習指導要領完全実施に伴い、以下の３観点となっています。

☐ 学びに向かう力、人間性等
「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」
☐ 知識及び技能
「何を理解しているか何ができるか」
☐ 思考力、判断力、表現力等
「理解していること・できることをどう使うか」

（２）評価方法

定期考査だけではなく、BMテスト、レポート、作品、実技、日常の学習に取り組む姿勢等、各教科の特性に応じた多面的な評価をしています。

（３）評定

教科ごとに『観点別学習状況』の評価をまとめて、下記の規準で５段階に総括しています。

「十分満足できるもののうち、特に高い程度のもの」	・・・５
「十分満足できるもの」	・・・４
「おおむね満足できるもの」	・・・３
「努力を要するもの」	・・・２
「一層努力を要するもの」	・・・１

2 『特別の教科道徳』の評価について

「特別の教科道徳」の評価は文章で記述しています。その評価については、学年末に行っています。

3 『総合的な学習の時間の記録』について

総合的な学習の時間の取組状況や成果などを文章で記述しています。その記録については、学習を実施した学期ごとに行っています。

4 『特別活動等の記録（学級活動、生徒会・部活動等）』について

生徒会や学級で本人が務めた「委員・係」や「学校行事での役割」、所属している「部活動」などを記述しています。記録は適切な時期に行います。

5 『学習及び行動等の総合所見』について

全学年で三者面談を実施していますので、生徒の「学校生活における努力や成長」等については、担任から直接伝えます。よって、面談のない３学期のみ記述します。

6 『出席の記録』について

欠席日数の「事故」とは、出席停止・忌引きの日数を除き、病気以外で欠席した日数です。